

2) 第2回調査(平成27年2月12日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-41に示した。調査日当日には2.5mmの降雨しか確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

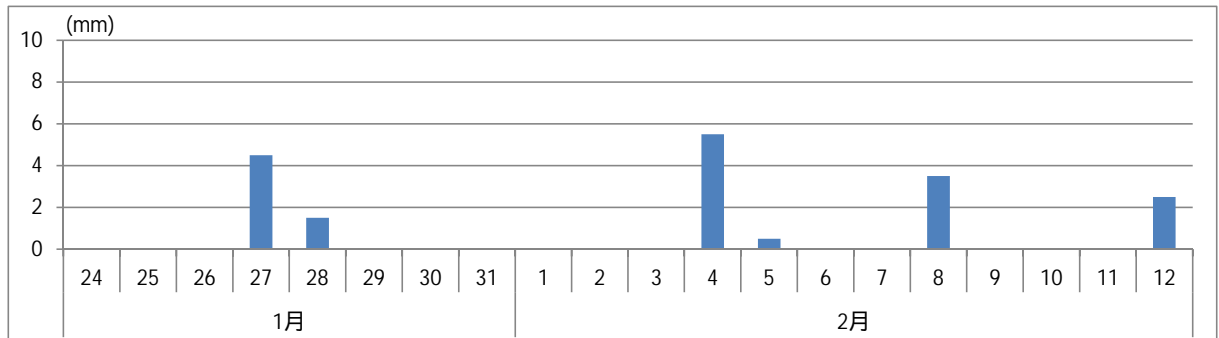


図 4.4-41 調査日前20日間の降雨状況(系数観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-42 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

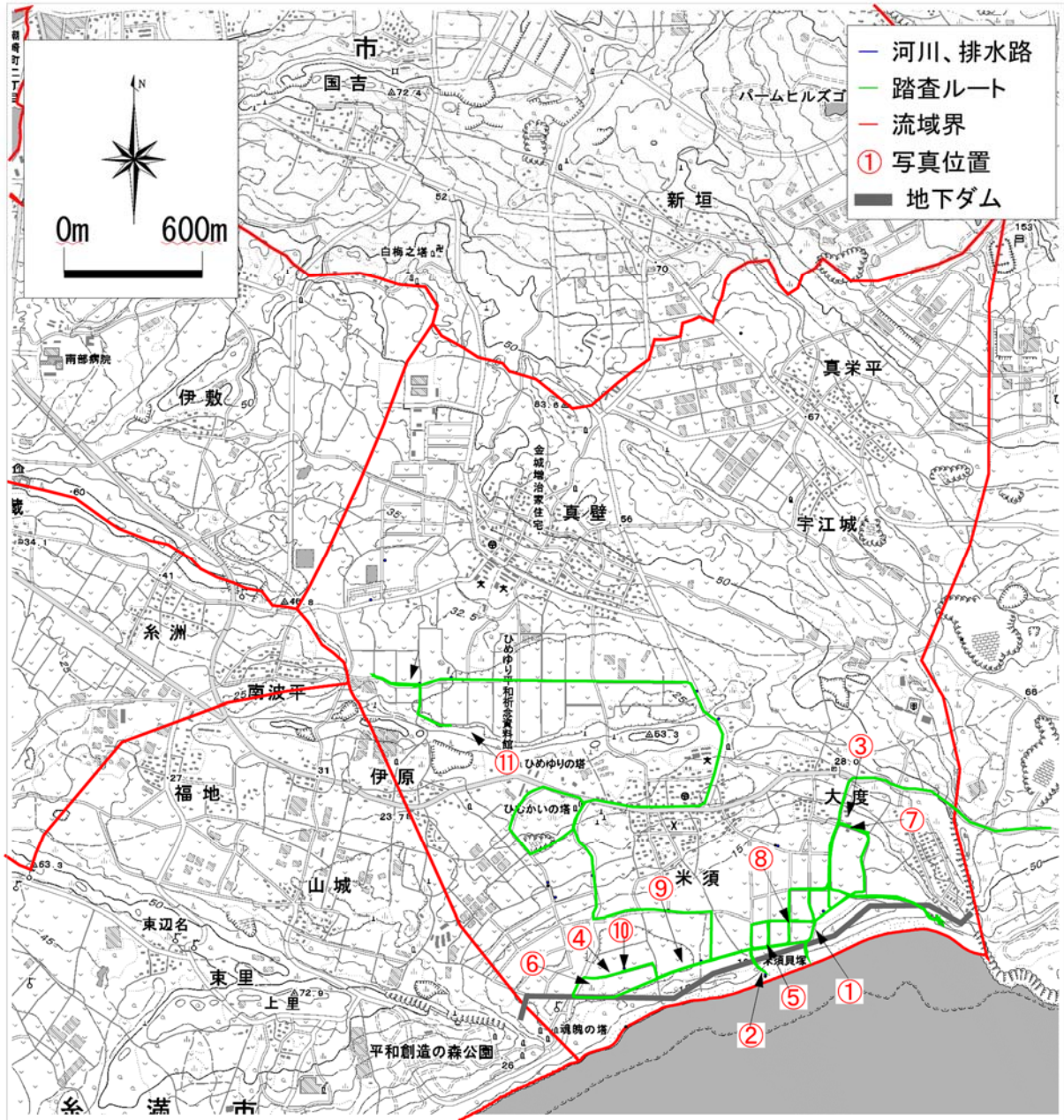


図 4.4-42 大度海岸 陸域調査位置図(2回目)

- ・ 大度排水路においては、流量も少なく、濁りも殆ど確認されなかった(地点)。
- ・ 地下ダム施設沖の湧水箇所においては、湧出していたが、濁りはほとんど無く、海域への濁水の流出は確認されなかった(地点)。



地点 大度排水路(濁り無し)



地点 地下ダム沖の湧水(濁り無し)

- ・ 流域内には、様々な畑が広がっているが、昨年度同様、畑の端に構造物を設置するタイプのものが多数見られた(地点)。



地点 畑端の対策(葉野菜栽培)(1回目地点)



地点 畑端の対策(サトウキビ畑)(1回目地点)



地点 畑端の対策(葉野菜栽培)



地点 畑端の対策

- ・ H26 年度第 1 回調査時に、降雨時に赤土流出の可能性のあった地点において、大きな変化は無かった（地点 ）。また、地点 においては、新規にビニルハウス設置途中であり、裸地が広がっていた。



地点 流出可能性が高い箇所(1 回目地点)



地点 流出可能性が高い箇所(1 回目地点)



地点 流出可能性が高い箇所(1 回目地点)



地点 流出可能性が高い箇所

- ・ 地点 においては、H26 年度第 1 回調査時に比べ、草本が茂っており、赤土流出の可能性が減少した。



地点 赤土流出が懸念された地点(改善)(1 回目地点)

(9) 真謝川河口

1) 第1回調査(平成26年12月19日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-43に示した。調査日当日には2.0mmの雨が降ったが、調査以降の降雨であったことから、平常時の陸域調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-44に示した。

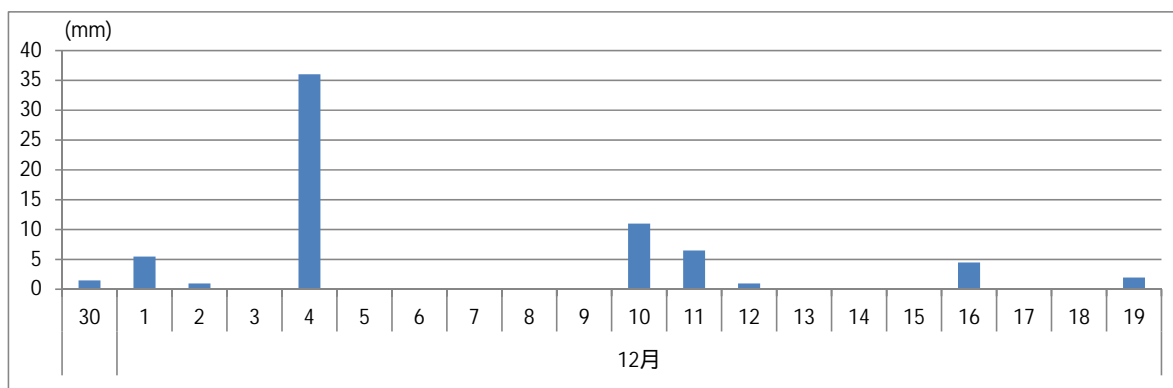


図 4.4-43 調査日前20日間の降雨状況(久米島観測所)

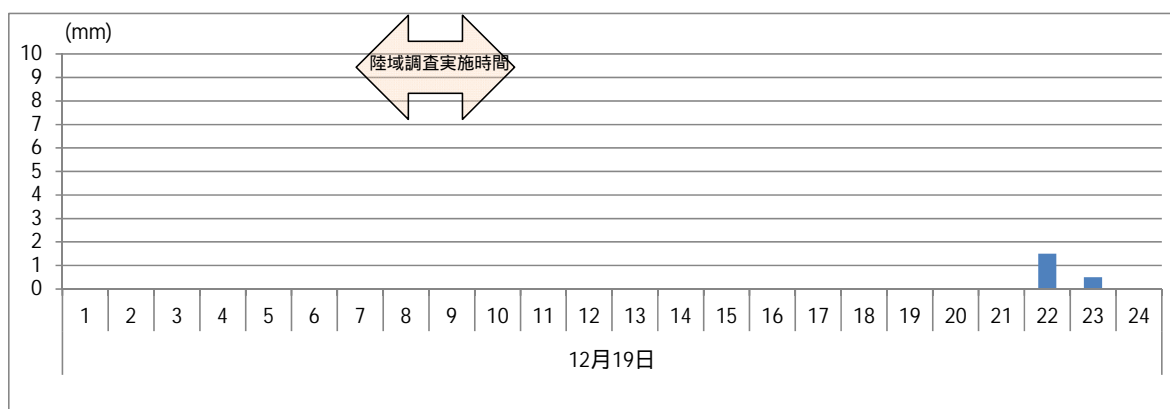


図 4.4-44 踏査当日の降雨状況(久米島観測所)

(b) 調査時状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-45 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

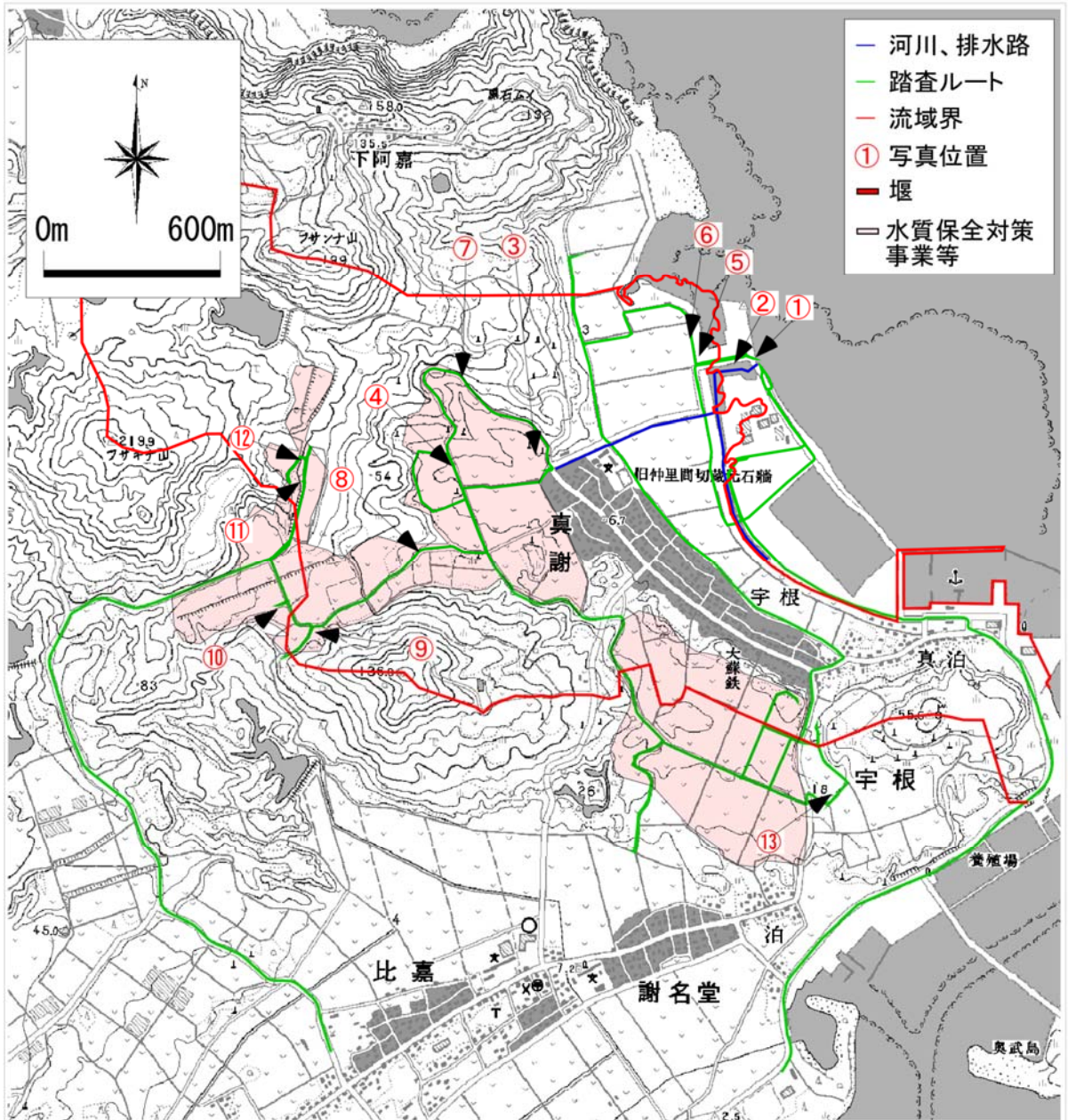


図 4.4-45 真謝川河口 陸域調査概要(1回目)

- ・ 河口域、および河口直上域においては、濁りは確認されなかった(地点)。



地点 河口域状況(濁り無し)



地点 河口域状況(濁り無し)

- ・ 流域内には、県営水質保全対策事業(耕土流出防止型)や土地改良事業が実施されていた(範囲は図 4.4-45 に示した)。



地点 水質保全対策事業看板



地点 土地改良事業看板

- ・ 流域内には、主にサトウキビ畑が広がっているが、河口近く北側の畑横の水路においては泥分が溜まっている状況が確認された。なお、調査時には泥分は固まっており、かつて畑から水路内に流出したものだと思われる(地点 ~)。



地点 水路内に泥分堆積



地点 水路内に泥分堆積

- また、流域内においては赤土等流出可能性が高い畑、もしくはかつて赤土等が流出した可能性が高い畑が複数確認された(地点 ~)。



地点 流出可能性がある畑



地点 流出痕がある畑



地点 流出痕がある畑



地点 流出可能性がある畑



地点 流出可能性がある畑



地点 流出痕がある畑

- ・ 昨年度第2回調査時に著しい濁水の流出が確認された沈砂池においては、今回沈砂池内で濁りは確認されたが、濁水の流出は確認されなかった。



地点 沈砂池の状況



地点 昨年度の沈砂池の状況

2) 第2回調査(平成27年2月17日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-48に示した。調査日当日には雨が降らなかったため、平常時の陸域調査として実施した。

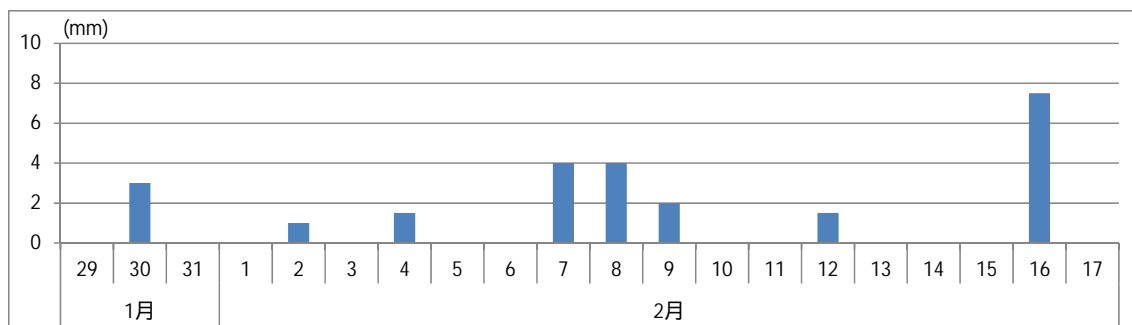


図 4.4-46 調査日前20日間の降雨状況(久米島観測所)

(b) 調査時状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-49 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

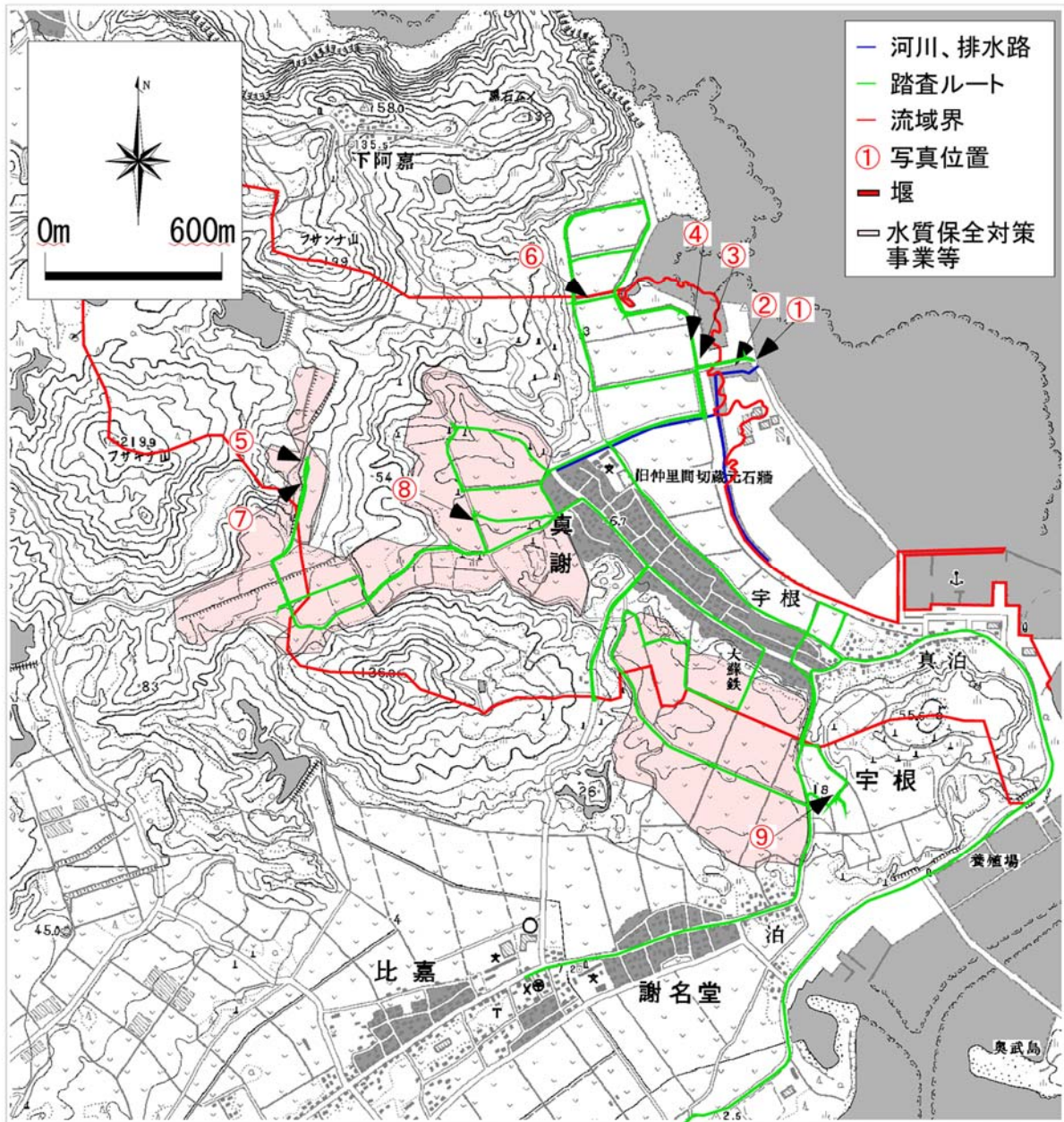


図 4.4-47 真謝川河口 陸域調査概要(2回目)

- ・ 河口域、および河口直上域においては、濁りは確認されなかった(地点)。



地点 河口域状況(濁り無し)



地点 河口域状況(濁り無し)

- ・ 流域内には、主にサトウキビ畑が広がっているが、H26 年度第 1 回調査時と同様、河口近く北側の畑横の水路においては泥分が溜まっている状況が確認された。なお、泥は畑から水路内に流出したものだと考えられる(地点)。



地点 水路内に泥分堆積(1 回目地点)



地点 水路内に泥分堆積(1 回目地点)

- ・ 昨年度確認された赤土等流出可能性が高い畑において、大きな変化は確認されず、依然として赤土流出が懸念された(地点 ~)。



地点 赤土が流出している畑(1 回目地点)



地点 去年度 1 回目調査時



地点 流出痕のあるサトウキビ畑



地点 去年度1回目調査時



地点 流出可能性がある畑(1回目地点)



地点 去年度2回目調査時



地点 流出可能性がある畑



地点 去年度2回目調査時

- ・ 昨年度第2回調査時に著しい濁水の流出が確認された沈砂池においては、枯れており濁水の流出は無かったが、底に砂泥が堆積しているのが確認された(地点)。



地点 沈砂池の状況(1回目地点)

(10) 磯間川河口

1) 第 1 回調査(平成 26 年 12 月 18 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-48 に示した。調査日当日には雨が降ら無かったことから、平常時の陸域調査として実施した。

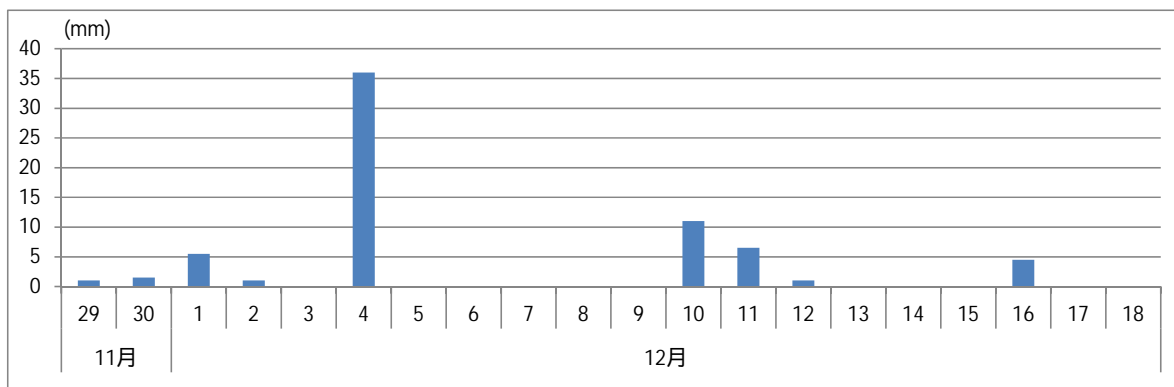


図 4.4-48 調査日前 20 日間の降雨状況(久米島観測所)

(b) 調査時状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-49 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

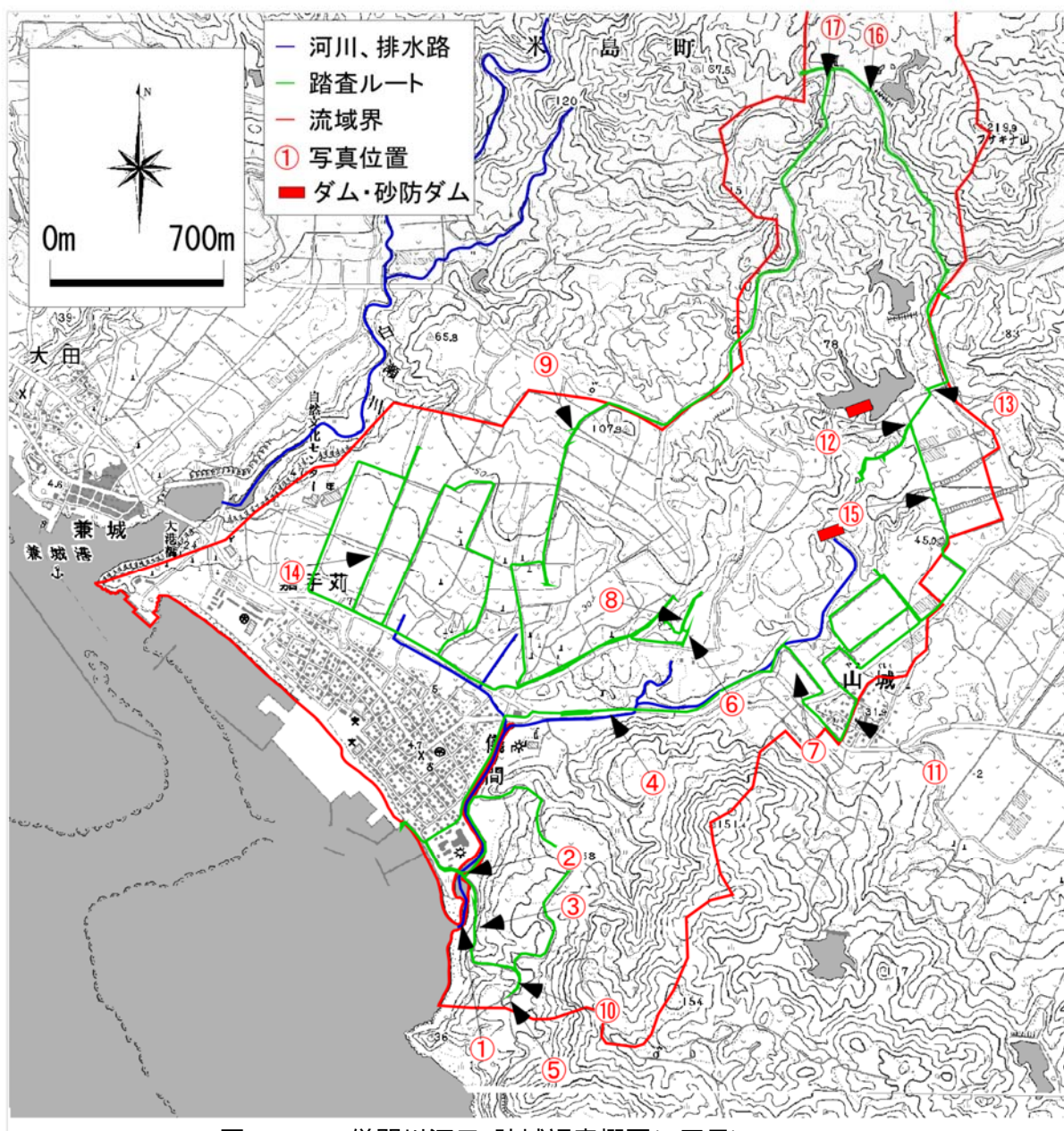


図 4.4-49 儀間川河口 陸域調査概要(1回目)

- ・ 河口域、河口直上において濁りは殆ど確認されなかった(地点)。



地点 河口域(濁りなし)



地点 河口域(濁りなし)

- ・ 昨年度第1回調査時(1月)では、河口のすぐ近くにサトウキビ畑は、間に流出防止の構造物等が無く、流出する可能性が高かったが、今回も同様の状態であった(地点)。



地点 河口そばの畑



地点 昨年度第1回調査時(1月)の状況

- ・ また、河川沿いの地点 においては、すぐ近くにサトウキビ畑があり、間に流出防止の構造物等が無い為、流出する可能性がある。また、流出痕も確認された(昨年度1、2回調査時と同様)。



地点 河川そばの畑(流出痕有り)



地点 昨年度第1回調査時(1月)の状況

- ・昨年度確認された造成裸地箇所(面積 40m×25m 程度)では、前面に雑草類が覆っており、赤土等が流出しづらい状況となっていた(地点)。



地点 造成裸地前面に雑草が覆う。



地点 昨年度第2回調査時(3月)の状況

- ・昨年度第2回調査に確認された、著しい濁水流出が見られた沈砂池は、今回、流出は確認されず、また沈砂池内の濁りも薄かった(地点)。



地点 沈砂池から流出無し



地点 沈砂池状況(濁り小)



地点 昨年度第2回調査時(3月)の状況



地点 昨年度第2回調査時(3月)の状況

- ・ 昨年度確認した、流出源となりうる箇所(地点 ~)については、多くの箇所
で状態に変化が無かったが、地点 においては雑草が覆っており、流出可能性
が減少した。



地点 流出可能性が有る畑



地点 昨年度第1回調査時(1月)の状況



地点 流出可能性が有る畑



地点 昨年度第1回調査時(1月)の状況



地点 昨年度流出可能性が有った畑



地点 昨年度第1回調査時(1月)の状況

- なお今回、流域内の畑において流出痕があり、今後も流出可能性が高いと思われる箇所を新たに複数確認した(地点 ~)。
- また、一部の畑においては、土嚢袋を設置し流出防止対策を実施している箇所も確認された(地点)。



地点 流出痕がある箇所



地点 流出痕がある箇所



地点 流出痕がある箇所



地点 流出痕がある箇所



地点 流出可能性が高い箇所



地点 土嚢袋による対策

- ・ 本流域の上流では、儀間ダムが造成されており、それに関連した材料山復旧工事が確認され、広大な裸地が広がっていた(地点)。



地点 材料山復旧工事看板



地点 材料山復旧工事



地点 材料山復旧工事